

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 実施報告書

| | |
|-----------|------------------|
| 報告日 | 平成31年2月15日 |
| 主管学校名 | 岡山大学教育学部附属特別支援学校 |
| P T A 会長名 | 竹中 恒樹 |

| | | |
|------|---|---|
| 実施概要 | 主管校 | 岡山大学教育学部附属特別支援学校 |
| | 交流校 | |
| | 実施活動名 | ① 研修旅行 ② 進路を考える会 ③ 事業所ファイルの作成 |
| | 実施日時 | ① 平成30年10月10日 ② 平成31年1月17日 ③ 月1・2回(不定期) |
| | 実施場所 | ① 社会福祉法人旭川荘 わかば(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・共同生活援助) わ・ダイニングこよし(就労継続支援A型・福祉ホーム) 昼食 グッドジョブ支援センター(岡山大学ダイバーシティ推進本部・一般就労) ② 本校日常生活訓練棟(あおぎりハウス)1階ホール ③ 本校教育相談室 |
| | 実施目的 | ① 保護者が色々な種類の事業所を実際に見学することでそれぞれの事業所について学び、卒業後の子どもたちの生活や進路のイメージをもつ。 学部をこえて保護者同士の親睦を深める。 ② 将来の自立にむけて在学中にできることを考える。 ③ 保護者が見学した事業所の詳細をまとめた事業所ファイルを作成し、それを参考にすることで、高等部での現場実習先を効率よく選択することができるようにする。(先生と見学できる事業所の数は限られているため) |
| | 実施内容 | ① 子どもたちの進路先として考えられる三つの事業所の見学 ② 附属4校園のスクールカウンセラーをされている臨床心理士の三上いづみ先生の講話 ③ 事業所ファイルの作成 |
| 実施方法 | ① バスで各事業所をまわり、見学後、事業所の概要の説明を受ける。 ② 本校にスクールカウンセラーの三上いづみ先生を招き、全学部対象として、会を開催した。 ③ 高等部の保護者に現場実習前に資料作成協力依頼書を配布し、提出された資料を基に事業所ファイルの作成を行った。 保護者が学校以外で個人的に見学した事業所についても資料として収集した。 | |
| 参加人数 | ① 35名(保護者33名・教員2名) ② 36名(保護者35名・教員1名) ③ 5名(有志) | |

| | | |
|------|----|---|
| 報告事項 | 内容 | ① 平成30年10月10日 研修旅行 (保護者が学校卒業後の進路として考えられる事業所を実際に見学したり、事業所の概要の説明を受けたりした。) 社会福祉法人旭川荘 わかば(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・共同生活援助) わ・ダイニングこよし (就労継続支援A型・福祉ホーム) 昼食 グッドジョブ支援センター (岡山大学ダイバーシティ推進本部・一般就労) 貸し切りバスを利用して上記の通り事業所見学を実施した。 |
| | | ② 平成31年1月17日 進路を考える会 「親子関係の守破離 ～子どもの巣立ちを見据えた関わり～」という演題で岡山大学教育学部附属園スクールカウンセラー 三上いづみ先生にご講話いただき、参加者に講話の感想を記入してもらった。 |
| | | ③ 月1・2回(不定期)程度集まり、事業所ファイルの作成を行っている。高等部の保護者に現場実習前に資料作成の依頼書を配布し、提出された資料を基に各事業所の詳細をまとめたり、保護者が学校以外で個人的に見学した事業所についても協力していただき、資料を作成したりしている。事業所の概要だけでなく、保護者目線で見たことや感じたことなども記入し、他の保護者の参考となるようなものとして作成した。今年度からグループホーム、短期入所施設などの資料も加わり、卒業後の子どもたちの就労・生活全般の参考資料になるようにと現在も作成を続けている。作成した事業所の資料と共に、見学時に各事業所からいただいたパンフレットや冊子もセットで事業所ファイ |

| | | |
|--|-----------|---|
| | | <p>ルに収めている。作成した事業所ファイルは保護者が閲覧できるようにしている。</p> |
| | <p>結果</p> | <p>① 小学部から高等部の 35 名の保護者が実際に事業所を見学し、職員の方からお話を伺ったり、本校の卒業生が仕事をしている姿を見たり、事業所で販売しているものを購入したりすることができた。障害のある方が色々な支援を受けながら働かれている様子を見たり、事業所の方から働く上で大切なことなどの話を聞いたりすることができたことは、子どもたちの社会生活を考える機会となった。</p> <p>② 子どもの自立に向けて強い心を育てるために親が出来ること、学齢に合わせた子どもへの接し方についてのお話は、子どもとの関わり方を考える機会となった。</p> <p>③ 事業所ファイルの作成は現在も続いており、平成 31 年 2 月 15 日現在で 111 事業所の情報を集め、ファイルに収めている。高等部の保護者を中心に、ファイルを見て、子どもの現場実習に備える、という活用をしていた保護者がいた。</p> |
| | <p>所感</p> | <p>三つの活動のうち、②については進路指導主事（学校）が主導の活動であったが、いずれも、保護者のニーズに合った活動を行うことができた。小規模校なので、学部を越えた保護者の繋がりをつくりやすい。①は研修の要素が強い活動ではあるが、小学部の保護者にも「働く」ということをイメージしやすい活動であり、先輩の保護者が経験してきた子どもの進路についての情報を直接聞くことや日頃の悩みなどを相談することもできる場となり、保護者間の交流をはかることができたように感じる。②の外部講師のお話は子育てを振り返る機会となり、レジリエンスを強化し逆境におかれた時に乗り越えられる力をつけていけるよう子育てに努めたいと強く思った。③の事業所ファイルの作成は平成 30 年度から始めた有志の活動であり、平成 31 年 2 月 15 日現在で 111 の資料をファイルすることができた。障害がある子どもの親として、先を進む者が自分たちの見学した事業所を資料にして後輩たちの進路選択の参考になればと始めた活動である。今年度からは短期入所、グループホームなども加わり、子どもたちの卒業後の生活全般の資料となればと考えている。有志での活動であるため継続させていくことが今後の課題である。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>添付書類</p> | <p>収支決算書 領収書（コピー） 参加者の声（保護者） 活動記録写真 事業所ファイル一覧</p> |
|-------------|---|

添付資料

① 事業所見学写真9枚

社会福祉法人旭川荘 あおば



わダイニングこよし



岡山大学 グッドジョブ支援センター



② 進路を考える会写真2枚



③ 事業所ファイル写真2枚



カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日 平成31年2月15日

学校名 岡山大学教育学部附属特別支援学校

① 研修旅行

- ・将来、我が子の就労に関わってくる様々な支援形態を見学することができました。卒業後にどのような就労支援があるのか、実際に施設を見学させていただくことで、より理解することができたように思います。とても有意義な時間でした。
- ・実際に大学に入って、農場や清掃現場、事務所で作業されている様子を見た後に、仕事についての詳しい説明を聞くことができたのでよく分かりました。
- ・卒業生がレジをしている姿も輝いて見え、我が子が将来この様なところで働けるように成長できたらなと感じました。
- ・見学した三か所の事業所それぞれが利用者さんに合った支援を考えられていました。子どもがまだ小さいので働くということがピンときていなかったのですが、実際に見学することができて良かったです。
- ・1日で、一般就労、A型、B型、生活介護と、タイプの違う事業所の見学ができて良かったです。
- ・実際に見学することで、資料には載っていない職場の雰囲気等が感じられ、我が子に向いているかどうかがよく分かりました。

② 進路を考える会

- ・「子どもにとって親は心の安全基地。」という先生の言葉が心に沁みました。
- ・兄弟児の子育てについても参考になり、これから頑張ろうと思いました。
- ・「やって見せて、言ってみせて、やらせてみて、褒めてやらねば人は動かず。」という山本五十六の言葉の意味をあらためて考えさせられました。
- ・子どもが就労に向けて、社会の厳しさには負けない心の強さを持つために、親がしてやれることのアドバイスをもらったような気がします。
- ・今はまだ小学部なので親卒は考えられませんが、今後の子どもの関わりについて参考になりました。
- ・レジリエンスを強化し、逆境におかれた時に乗り越えられる力をつけていけるよう、子育てに努めたいと強く思いました。
- ・守破離、初めて聞く言葉でした。子育てに応用してみると、とてもしっくり当てはまるものだと思いました。それぞれの段階での接し方のちょっとした工夫を教えていただいたので困った時は是非参考にさせていただこうと思いました。
- ・普段はどうしても障害のある息子とみてしまい、出来ないこと、駄目なところにばかり目を向けがちだと改めて気付かされました。
- ・もっと良いところに目を向け、子どもの成長に合わせた関わり方をしていきたいと思いました。

③ 事業所ファイルの作成

- ・我が子の実習先を考えた時に詳細なことが知りたくて、この事業所ファイルを見させていただきました。
- ・最新の情報が載っており、作業をしている環境や支援員の方々の接している様子も書いているので参考になりました。
- ・ホームページやパンフレットを見ただけでは分からない情報が書いていました。
- ・昼食時や休憩時の様子など、実際に先輩方が実習に行った時のことが書いてあり、親の目線での感想が良かったです。
- ・それぞれの事業所がしている作業内容がわかるので子供に合う実習先を探すのにありがたかったです。
- ・ファイルには100事業所以上の情報があり、一人ではとても見学にいけないので助かります。
- ・普通の事業所紹介とは違い障害を持つ子の親の視点から書かれてあり、実際に足を運ばなければ分からない事や「ここ知りたかった！」と思うことまで書かれてあり大変参考になりました。どんどん更新していつてもらいたいです。
- ・社会へ良い第一歩を踏み出してもらいたく、我が子の障害特性に合った事業所を探しています。限られた時間の中で出来るだけたくさんの事業所を見学したいのですが、様々な制約のためにそれも叶いません。そんな中、同じ保護者目線で書かれた「事業所ファイル」を見せていただき、興味をひかれるところを何ヶ所か見つけることができました。後は自分の目で確認しに行けるのでとても助かります。ありがとうございました。